

1980年をふりかえて

2年 吉田松夫

その1 オリエンテーリング"での話

水戸市街から宿舎に帰るとき、僕はあせっていた。なんと、知らないうちに腕時計に一時間以上の時差が生じていたのだ。僕には地図を見ながら走るなどという余裕はなく、僕はひたすら ⇒ 大洗 の標識をたよりに走っていた。(これがどつぼの原因だった。) 途中村瀬に会った。彼は宿舎までの地図を持っておらず"どこまで"土地の人に東工大の宿舎へは どう行けばいいのか聞きながら来たということだった。ということでも"それから"は村瀬と一緒に走った。……僕たちがたどりついたのは「東光台」という宿舎とは全く方向違いのところだった。

その2 春合宿でフリーがばらけた話

春合宿では前半から『ギヤをトップからロー側へ変速しようとするときチェーンがフリーとエンドの間に落ちこむ』という奇怪なトラブルに悩まされた。そして中盤からはフリーとチェーンとのかみ合いが悪くなった。僕はそれをチェーンに

ドロや砂がついているせいだと思い、ひたすらチェーンをきれいにし、油をさしていたのだった。(実際にはこのころからフリーのフタはゆるみ始めていたのだらう。)

そして高野山へののぼり。フリーとチェーンは相変わらず異音を発していたが、かまわずのぼっていた。僕は合宿装備での急なのぼりはどうも苦手で、あの時も終盤には山口さんにもおいていかれ、完全にぶちぎられてしまっていた。フリーに運命の時。すでにのぼりはあとほんの少しになっていた。僕はインターフォースで走っていた。坂が少しきつくなった。インターローにした。かチャカチャ…カウカウカウ…急にチェーンがから回りし始めた。僕は一瞬、チェーンがスポークとの間に落ちこんだものと思い、直そうとした…がよく見るとフリーが外側へずれていた。終わった!! と思った。そのあとはあと少しということもあり、他の4人が待っているところまで押して行った。これがまくなかったようだ。あの時すでに直していればボールの紛失をもう少し少なくできたのだらう。

合宿後このフリーを分解して調べた！このボールは38コ

しか入っていなかった (Normal は  $36+41=77$ ) をしてボールが少ないまま使い続けたため、ボールレース部はひどくでこぼこになってしまっていた。

[原因] フタをあけてスプリング調整をしたのがよくなかったようだ。

[その後] フタとボールについてはスペアがあったので、無理矢理復活させて、予備合宿、合宿等で使用した。予備合宿の途中でもフリーのフタがゆるんだが、この時はすぐに気づいたため、大車には至らなかった。

### その3 リム振れの話 (夏合宿)

あれは美深から浜頓別まで走った日のことだった。休憩後、走りだそうとするとリムとアレーキシューとがこする音がする。仕方ないのでシバーのクイックをはずして走りだした。しかしそれでもまだ音がする。しかしリムを調べてみるとそんなに狂ってはいない。まだなあ、と思いつつも結局前アレーキのワイヤーをはずして全く利かない状態にしたらや、と直った。その後は片アレーキということでも真直に走り、その日の夕方、浜頓別のキャンプ場でホイールが軽いどりをすることにした。しかしホイールには問題になる

ような狂いはなかった。しかしまあ、ということで少々いじっておい  
た。すると次の日から全く大丈夫になったのであった。非  
常にふしぎなトラブルだった。

#### その4 事故った話 (夏合宿)

事故といっても小林ほどのものではないが、雑内公園からの  
下りでスピードを出しすぎてガードレールにはりついてしまった。  
小指をハンドルとガードレールとの間に挟んでしまい痛か  
た。ダウンヒルの帝王を自ずす僕としてはこういう姿は見られ  
たくないわけで、この時いちばんうしろを走っていたというのは  
非常にラッキーだった。

#### その5 愛車ルマンスポルティーフを盗まれた話

この問題については次号にくわしく書きたいと思います。

#### その6 腰痛の話

12月中旬から急に腰が痛むようになり、現在も完治してい  
ない。原因についてはいろいろと言われているが、僕としては  
一輪車の練習のしすぎだと思う。とにかくあの頃は自転車に  
は乗れないし、麻雀をやっても勝てないし、ということで一輪  
車に乗ってばかりいたような気がする。去年はひざが痛いわ、  
腰がいたいわで医者に行くとばかりだったようだ。今年は  
健康人になりたいものだ。

原紙がなくなったのでこゝにておしまい (81.131)